

平成25年度共同利用実施報告書(研究実績報告書)

(特定共同研究(A)、特定共同研究(C))

1. 課題番号 20 13 - A - 02 (※)

※特定共同研究 A01 の場合、予知研究課題番号を記入

2. 研究課題名 (データベース化のため英訳を加えてください。)

和文: 大規模活断層システムにおける長期地殻歪み蓄積過程の解明

英文:

3. 研究代表者所属・氏名 地震予知研究センター

(地震研究所担当教員名) 佐藤 比呂志

4. 参加者の詳細と旅費使用概要 (研究代表者を含む。必要に応じ行を追加すること)

氏名	所属・職名	出張先	出張期間	旅費支給の有無 ※特定(A)のみ
佐藤 比呂志	東京大学地震研究所・教授	石川県羽咋市ほか (日本列島震源断層ワークショップ)	9/17-19	無
石山 達也	東京大学地震研究所・助教	石川県羽咋市ほか (日本列島震源断層ワークショップ)	9/17-19	無
小林 健太	新潟大学理学部	石川県羽咋市ほか (日本列島震源断層ワークショップ)	9/17-19	有
阿部 紫織	東京大学地震研究所 M2	石川県羽咋市ほか (日本列島震源断層ワークショップ)	9/17-19	有
山内 紘一	東京大学地震研究所 M2	石川県羽咋市ほか (日本列島震源断層ワークショップ)	9/17-19	有
阿部 紫織	東京大学地震研究所 M2	富山市婦中町周辺 呉羽山断層調査	10/25-28	有
越谷 信	岩手大学工学部	東京 (大規模震源断層モデル構築のための重力解析)	1/15-17, 1/20-22	有
阿部 紫織	東京大学地震研究所 M2	岩手県盛岡市 (日本列島震源断層ワークショップ)	2/26-28	有
山内 紘一	東京大学地震研究所 M2	岩手県盛岡市 (日本列島震源断層ワークショップ)	2/26-28	有

5. 参加者が分担した役割（200-400 字程度で記入してください）

これまでの実験で得られた成果を総合的に検討し、東北日本南部の活断層における大規模活断層の構造と長期地殻歪みの分布を明らかにするべく、日本列島震源断層ワークショップ（9 月、2 月）において議論した。1 回目（9 月）のワークショップでは、背弧域を中心に地震予知計画や受託研究を中心に、近年の成果について情報集約と共有を行った。2 回目（2 月）のワークショップでは、1 回目のワークショップでの議論をふまえて、地形・地質・重力・地下構造・トモグラフィなど多様な地球科学的データセットを総合的に検討し、月岡断層・会津盆地西縁断層を含む大規模活断層の構造と長期地殻歪みの分布について検討を行った。

6. 研究実績（論文タイトル、雑誌・学会・セミナー等の名称、謝辞への記載の有無）

石山達也・加藤直子・佐藤比呂志・越谷 信・戸田 茂・小林健太・照井匡子・近藤しおり・山内紘一・阿部紫織、2013、呉羽山断層の高精度反射法地震探査（音川測線）、日本地球惑星科学連合 2013 年大会、SSS34-15、無.